

2020-2021 SHUSHOKU GUIDEBOOK

就職支援ガイド

目 次

学生支援・就職課（就職推進担当）からのお知らせ	3
I. 学生支援・就職課（就職推進担当）における支援	7
◎就職推進担当のご案内	8
・就職活動に関する掲示案内	9
◎就職支援計画	10
・学部1・2年生の方へ	11
・学部3・4年生，大学院1・2年生の方へ	13
◎就職志望先別・就職活動の進め方	17
・年間スケジュール	18
・民間企業志望の方	19
・（参考）業界の流れ	21
・公務員志望の方	22
・教員志望の方	24
◎各種支援メニューの紹介	26
・ジョブ・フェア（企業合同説明会）	27
・学内個別説明会	27
・面接練習（個人・集団）・模擬グループディスカッション	27
・エントリーシート・履歴書指導	27
・就活支援バス	28
・就職関連資料の閲覧・貸出	28
・求人情報検索システム	28
・[留学生向け] 留学生就職支援ネットワーク	28
・インターンシップ	29
・東京サテライト	30
・セカンドキャンパス	30
・求人情報検索システムの使い方	31
II. 各学部における支援	33
◎国際資源学部	34
◎教育文化学部	35
◎医学部	38
◎理工学部（工学資源学部）	40

学生支援・就職課(就職推進担当)からのお知らせ

【重要】はじめに

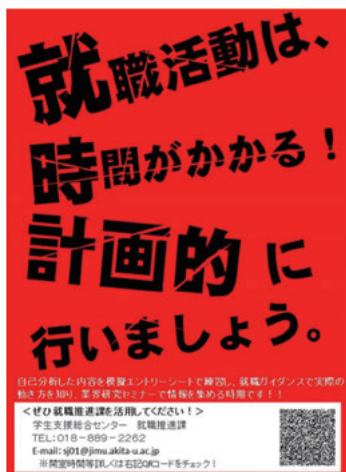
～本学の就職支援体制について～

本ガイドにおける学内情報は令和2年3月末時点のものです。
就職推進担当が企画する施策については変更の予定はありませんが、各学部（医学部除く）における支援等は、今後変更になる場合があります。

最新の情報は必ず「a・net」等で確認しましょう！！

就職推進担当では、学年学部を問わず就職に関する相談を随時受け付けています。困ったことがあればまずは就職推進担当にお越しく
ださい。

大切な情報を逃さないように気をつけましょう



就職活動は、
時間がかかる！
計画的に
行いましょう。

自己分析した内容を履歴エントリーシートで練熟し、就職ガイダンスで実際の
お作法を知り、業界研究やサークル活動等を始める時期です！

<ぜひ就職履歴書を活用してください！>
学生支援総合センター 就職推進課
TEL: 018-859-2262
E-mail: sg01@jmu.akita-u.ac.jp
※開室時間等詳しくは右QRコードをタップ！



その自信、
油断かも。

ネットや参考書
を見て書いたエ
ントリーシート・
履歴書、丸
暗記した面接の
応答etc. ちゃ
んと「自分の言
葉」で話してい
ますか？就活で
は「これが正
解」はありませ
ん。活動を通じ
て様々な意見を
吸収し、「自分
の言葉」を形成
しましょう。就
職推進課では、
書類添削・面接
練習等、随時受
け付けます。



就活するなら
a・net

a・netを見た人しか、
得られない情報があります

※a・netの「就職お知らせ」を確認しましょう

詳しくは右側、学生支援総合センター 就職推進課
TEL: 018-859-2262

就職活動を行うにあたって

採用情報の解禁は学部3年生・修士1年生の3月から、選考開始は学部4年生・修士2年生の6月からとなります。

就職・採用活動の取り巻く環境は変化しており、従来に比べ就職活動の短期化が叫ばれる状況の中で、就職活動に不安を抱える学生は少なくありません。しかし、その不安の原因は「知らないから」というこの1点だけだと考えます。

これから大学で自分達が学ぶこと、経験することを将来どのように社会に還元していくかをイメージできていれば、大学時代に何をすべきか、社会のどのような動きに着目すべきかが見えてきます。そうなれば、おそらく「自分がどうなるかわからない」という、流されてしまうような心配は無くなり、「自分はこうしていこう!!」という前向きで主体的な考えができると考えます。そのためには、「与えられたことをやっていたからこうなった」ではなく、「自分の中でのゴールに向かって何をすべきか考えながら必要な能力を自ら身につけていく」習慣を身につけてほしいと思います。

そこで必要となるのが、適切な情報を集めることと主体的な活動です。適切な情報、特に就職活動に必要な内容は就職推進担当からも提供していくので、主体的に動き、自分からどんどん情報を得るようにしましょう。情報や知識をしっかりと身につけ、後悔の無い大学生活を送り、就職活動時期を不安無く乗り越えてほしいと思っています。

■昨今の就活スケジュールに関する動向について■

平成30年10月に経団連（注1）が就活指針を廃止することを決定したことから、就活スケジュールが変更になる可能性がありましたが、令和元年10月に行われた関係省庁の会議（注2）により、2022年卒（令和2年4月時点で学部3年生・修士1年生）の学生の就活スケジュールは、現行どおり「採用情報解禁は3月から、選考開始は6月から」となりました。その会議では、2023年3月卒（令和2年4月時点で学部2年生）の就活スケジュールにも言及しており、2023年3月卒に関しては次年度に検討するということになりました。

就活スケジュールは変わらないものの、年々就活の短期化が進んでおり、3月以前の就活準備（インターンシップ等）の重要性がますます高まっています。十分に余裕を持ったスケジュールで計画的に志望企業の選別や自己分析等を進め、採用活動のスタートに備えましょう。

（注1）日本経済団体連合会の略称。主要企業等約1,500社・団体で構成される我が国財界の代表的団体です。
（注2）経団連の就活指針の廃止以降は、就職・採用活動の日程を関係省庁連絡会議において検討することになりました。

就職推進担当はみなさん一人一人の就活の助力となるよう活動していますので、ぜひ積極的に活用してください。

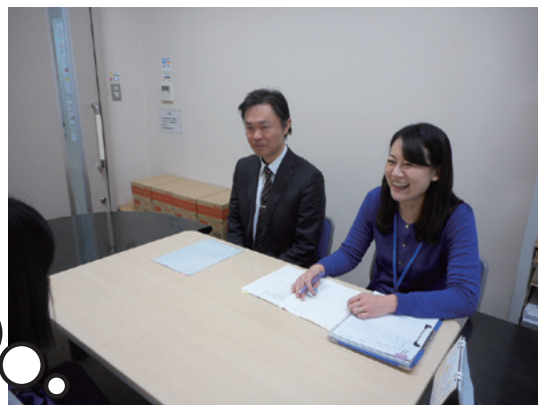


就職ガイダンスに 参加しよう！

就職活動に必要な情報を
時節にあわせて提供してい
ます。総合的な情報はここ
で知ることができます！

一人ひとりに寄り 添う就職相談体制

総合的な情報を獲得し動
き出した際に、疑問・問題・
悩みが出てきた場合は個別
での相談が可能！



合同企業説明会の 様子

多くの企業情報を得られ
る機会を提供しています。
学内個別説明会も開催し
ています！



I . 学生支援・就職課(就職推進担当)における支援

就職推進担当のご案内

就職に関する情報提供のほか担当職員が就職相談に応じています。全学共通ですので、学部を問わず大いに活用してください。

■就職相談

個別のエントリーシート等の添削から、面接練習等にも応じています。

■就職情報の収集・提供

就職関係資料閲覧コーナー（就職推進担当内、大学会館パンココ前）

就職活動に関する書籍・就職ガイダンスDVD等、就職関係の資料を揃えています。

■インターンシップ窓口

■就職ガイダンス・業界研究セミナー等の実施

■学内企業説明会の実施

～学生支援棟1Fにありますので、お気軽にお越しください～



《大学会館パンココ前 資料コーナー》



学生支援総合センター 学生支援・就職課（就職推進担当）

Tel : 018-889-2262 E-mail : syusyoku@jimu.akita-u.ac.jp

←左記のQRコードからも就職推進担当の連絡先を登録できます

就職関係のポスターは各学部および★で確認しよう！



〈就職支援計画〉

- ◇学部1・2年生の方へ …………… 11
- ◇学部3・4年生，大学院1・2年生の方へ …… 13

学部1・2年生の方へ

秋田大学で学ぶもの

大学でめざすもの（めざすもののイメージ）

1. 教養・知識を身につけよう！！

- ・教養は豊かな人生への調味料
- ・グローバル社会での活躍には、教養が絶対に必要

英会話は大学時代に習得しよう

2. 専門分野の能力を身につけよう！！

- ・社会や産業を支えるプロになろう
- ・創造力・独創性は専門性の中で育ちます

研究でひらめいた時の
うれしさは別格です

3. 人間力を磨こう！！

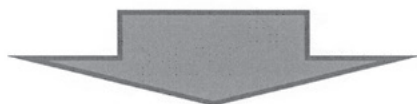
- ・コミュニケーション能力や共感力は人間関係のツール
- ・決断力、洞察力はリーダーに不可欠

社会との接点を積極的に持つ
ことで人間力が磨かれます

4. 社会の仕組みを理解しよう！！

- ・人生を楽しむには、社会の仕組みの理解が必要です
- ・就職活動も楽しくやろう

社会に乗り出すまえに、
社会の仕組みを知っておこう



「大学で学ぶもの」と「夢」「自分のやりたいこと」
のつながりを考えながら自分の進むべきキャリアを
デザインしましょう。



卒業

社会で活躍する人材へ！！

■初年次ゼミ

- ・1年次の前期に行われる初年次ゼミの中で、それぞれの専門に合わせた職業観育成の講義を実施します。
- ・大学生活を有意義に過ごし、社会人としての意識を高めるためにも非常に重要です。

学部	学科・コース	実施日			
		月日	曜日	時 限	教 室
国際資源学部	資源政策コース	5月16日	土	3～6時限目	一般教育2号館 301
	資源地球科学コース				
	資源開発環境コース				
教育文化学部	教育実践コース	5月14日(木)実施予定。(詳細はコースからのお知らせをご確認ください。)			
	英語教育コース	未定 (詳細はコースからのお知らせをご確認ください。)			
	数理教育コース	5月7日	木	7・8時限目	教育文化学部3号館 146
	特別支援教育コース	6月11日	木	7・8時限目	教育文化学部5号館 209
	こども発達コース				
地域文化学科	6月15日	月	9・10時限目	一般教育2号館 203	
医学部	保健学科	4月10日	金	1・2時限目	大講義室
理工学部	生命科学科	未定 (詳細はコースからのお知らせをご確認ください。)			
	物質科学科	5月13日	水	3・4時限目	理工3号館 319
	数理・電気電子情報学科	5月19日	火	5・6時限目	理工学部1号館1階 共通127講義室
	システムデザイン工学科	5月18日	月	5・6時限目	理工学部共通 127

■就職ガイダンス (学部1・2年生からの参加を推奨するもの)

日時・会場	企画名	主な内容	備考
R2.4.13(月) 16:10～ (最大17:40)	就活のイロハ 就職活動の進め方・注 意点 各就職情報会社から の情報提供	就職活動の心構え 就職ガイダンスの年間スケジュール 就職活動の基本 本学の支援について	
R2.4.20(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：自己分析	自己分析の重要性を知り、実際の ワークを通して自己分析の方法を 知る。	
R2.5.18(月) 16:10～ (最大17:40)	企業業界研究 新聞を就活にどう活かす か	企業業界研究や新聞を読むことの 重要性を知る。	
R2.5.25(月) 16:10～ (最大17:40)	インターンシップの意義・ 臨み方	インターンシップに参加する意義 や臨み方について	
R2.5.31(日) (実施予定)	インターンシップセミ ナー	夏期インターンシップを実施する 企業約30社からの説明	※時間・会場は未定 (アネットやポスター にてお知らせします)
R2.6.1(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：ES対策①	インターンシップに向けて履歴書・ ESの概要や、各設問にどのよう な意図があるのかを知る。	
R2.6.8(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：ES対策②	インターンシップに向けて履歴書・ ESを実際に書いて練習を行う。	
R2.6.22(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：面接対策	インターンシップに向けて、面接 で気をつけるべきポイントや質問 の意図を知る。	
R2.7.13(月) 16:10～ (最大17:40)	身だしなみ・メイクアッ プ講座	インターンシップ参加前に、身だ しなみやメイクのマナーについて 学ぶ	
11月～12月中	業界研究セミナー	各業界の現状・展望、業務の分類 や特徴を知る。	※時間・会場は未定 (アネットやポスター にてお知らせします)

学部3・4年生、大学院1・2年生の方へ

〈就職活動に備えるための具体的ポイント〉

本格的な就職活動に向けての事前準備をしっかり行うことが欠かせません。

■就職の目的

就職活動を行うにあたって、まずは自分にとって就職し、「働く」こととはどういうことなのか、就職の目的を明確にしておくことが必要です。

就職は「自立した生活を営むため」といえますが、人それぞれの価値観が違いうように、具体的目的は「学業で得た知識を社会のために活かす」、「公務に携わり国民（地域住民）のために働く」、「企業活動を通して社会の役に立つ」等それぞれ違います。

働くことの意義をどこに求めるのか、就職の目的をしっかりと考えましょう。

■就職ガイダンス

大学では、学生が就活を円滑に行えるように、就活に役立つ「就職ガイダンス」を開催しているため、毎回積極的に参加しましょう（「就職ガイダンス」のスケジュールは15ページに掲載）

■自己分析

自分がどんな人間なのか、自分はどんな仕事に向いているのか、じっくりと考えましょう。志望する職業で自分が活躍できるという主張をするためにも自己分析は必要不可欠です。

過去の経験（印象に残っていること、頑張ったこと、辛かったこと等）を書き出し、そのときの行動を分析してみて、自分の特徴、価値観、長所・短所、能力、得意・不得意、興味等を把握しておきましょう。特に長所を発揮する時に、自分は何を考えて行動しているかを振り返りましょう。

自己分析はすぐにできるものではなく、時間がかかります。学部3年生・大学院1年生の夏休み前には自己分析を始めましょう（年間スケジュールP18参照）。しっかりと自己分析しておくこと、具体的な就職先の選定や、履歴書・エントリーシート（ES）作成、面接等に大いに役立ちます。

■業種・業界・企業・職種研究

これまでの「働く目的」や「自己分析」を踏まえ、自分の進みたい方向を考えながら、どのような業種があるのか、その業種にはどんな企業があるのか、どんな職種があるのか研究しましょう。

自己分析と同様、早期から準備を進めていく必要があります。様々な業界について知るためにも、夏休み前ころには始めましょう（年間スケジュールP18参照）。調べていくにつれて、関心のある（自分のやりたい仕事、向いている仕事）業種、企業、職種が次第に絞られてきますので、さらに研究を深めましょう。ただし、この段階ではあまり狭く絞ってしまわないようにしましょう。

当課が開催する業界研究セミナーは全学年対象です。早期から様々な業界について知り、準備をしましょう。

〈ポイント〉

社会の流れを捉えるために新聞を読みましょう。新聞は記事の扱いの大小により社会的な関心の大小が直感的に把握しやすいメリットがあります。またインターネットから得る情報と違い、小さなニュースも取り上げられます。自分の気になるニュースを継続的に読みましょう。

■インターンシップ

インターンシップとは学生が一定期間、企業などで働き、自分の将来に関連のある職業体験を行える制度です。

仕事の雰囲気や体感できる、企業の生の姿を知ることができる、社会人のマナーがわかる等のメリットや就職活動本番でのミスマッチを防ぐ目的もあります。興味がある業界・企業のインターンシップには、長期休業期間を活用して、積極的に体験してみましょう。

〈就職活動における心構え〉

就活を通じて企業と触れ合い、視野を広げれば、自分の意外な適性や才能に気づき、将来の可能性を広げることができるかもしれません。

■身だしなみ・マナー

企業合同説明会、会社説明会、会社訪問等では、相手に対して不快な感じを与えないよう、最低限の身だしなみ・マナーが必要です。

髪型、服装、礼の仕方、電話のかけ方、言葉づかい等チェックしておきましょう。

■企業合同説明会、会社説明会

学部3年生(大学院1年生)の3月になると、一斉に就職情報会社の企業合同説明会や企業単独の会社説明会が始まります。企業情報を収集し選択の参考とするためにできる限り参加しましょう。

少しでも興味のある企業等、できるだけ多くの企業の話聞き、企業の特徴やどんな点が心に残ったのか等を整理してメモしておき、応募先を絞り込むための参考にしましょう。

《ポイント》

説明会という場合は、実際の選考の場を除けば、企業担当者と直接話せるほぼ唯一の機会です。ただ漠然と内容をメモするだけでなく、事前に企業について調べ、必ず説明会当日までに質問を用意することをおすすめします。また、企業ホームページだけではわからない情報もあると思いますので、その点についても質問してみましょう。

■履歴書・エントリーシート対策

履歴書・エントリーシートは、応募する企業に自分を知ってもらうための資料です。志望動機や自分の強みをわかりやすく記入し「この人に会ってみたい」と思わせる必要があります。

文案ができたら、友達や教員から確認してもらうことや、就職推進担当職員の添削指導を受けることで相手に自分の思いが伝わる文章にしましょう。

文章は書くほどに上達しますので、提出日前に余裕をもって文案を作成し、何度でも相談を行いましょう。

■面接対策

面接は、企業の求める人物像に応募者がマッチするかを確かめる場です。

最近の面接試験は、複数回行われる傾向にあり、「志望動機」、「自己PR」、「これまでに頑張ったこと」が最も多い質問です。

面接試験終了直後には、次に生かすために、面接官がどういう質問をして、それに對して何を答えたか、必ずメモしておきましょう。

就職推進担当では、マンツーマンの面接相談のほか、模擬面接や集団面接練習も行っていますので、ぜひ利用しましょう。

《ポイント》

大学時代のエピソードを書く（話す）際に重要なことは、「何を経験したか」ではなく「その経験で何を考えて行動し、何を学んだか」です。大学時代に経験したことを書き出して整理することや、周囲に聞きとりをすることによりポイントをまとめてみましょう。これは自己分析にもつながることで。

■就職ガイダンス

就職ガイダンスは、以下のスケジュール表に沿って行います。

各ガイダンスの詳細については、開催の都度事前にお知らせします。会場等、変更になる場合がありますので、必ず直前に a・net 等で確認してください。

お知らせ方法～a・net、学内掲示板、就職推進担当室内掲示板、教育文化学部就職情報室掲示板、理工学研究科事務部掲示板、国際資源学研究科事務部掲示板（掲示板の位置はP9参照）

【学部3年生，修士1年生対象】

日時・会場	企画名	主な内容	備考
R2.4.13(月) 16:10～ (最大17:40)	就活のイロハ 就職活動の進め方・注意 点 各就職情報会社からの 情報提供	就職活動の心構え 就職ガイダンスの年間スケジュール 就職活動の基本 本学の支援について	
R2.4.20(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：自己分析	自己分析の重要性を知り、実際の ワークを通して自己分析の方法を 知る。	
R2.5.18(月) 16:10～ (最大17:40)	企業業界研究 新聞を就活にどう活かす か	企業業界研究や新聞を読むことの 重要性を知る。	
R2.5.25(月) 16:10～ (最大17:40)	インターンシップの意 義・臨み方	インターンシップに参加する意義 や臨み方について	
R2.5.31(日) (実施予定)	インターンシップセミ ナー	夏期インターンシップを実施する 企業約30社からの説明	※時間・会場は未定 (アネットやポスター にてお知らせします)
R2.6.1(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：ES対策①	インターンシップに向けて履歴 書・ESの概要や、各設問にどの ような意図があるのかを知る。	
R2.6.8(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：ES対策②	インターンシップに向けて履歴 書・ESを実際に書いて練習を行 つ。	
R2.6.22(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：面接対策	インターンシップに向けて、面接 で気をつけるべきポイントや質問 の意図を知る。	
R2.7.13(月) 16:10～ (最大17:40)	身だしなみ・メイクアッ プ講座	インターンシップ参加前に、身だ しなみやメイクのマナーについて 学ぶ	
R2.7.27(月) 16:10～ (最大17:40)	前期：おさらいセミナー	前期に行った就職ガイダンス内容 を復習する	
R2.10.12(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：自己分析	就活が始まる前に、改めて実際の ワークを通して自己分析の方法を 知る。	
R2.10.26(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：企業業界研究 新聞を就活にど う活かすか	企業業界研究や新聞をどう就活に 活かしていくかについて、ワーク を通してやり方を学ぶ。	
R2.11.9(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：筆記試験対策①	筆記試験の概要を知り、今後の就 活に備える。	

日時・会場	企画名	主な内容	備考
R2.11.16(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：筆記試験対策②	ワークを通して筆記試験に備える。	
11月～12月中	業界研究セミナー	各業界の現状・展望，業務の分類や特徴を知る。	※時間・会場は未定 (アネットやポスターにてお知らせします)
R2.12.7(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：ES対策	就活本番に向けて、履歴書・ESを実際に書いて練習を行う。	
R2.12.21(月) 16:10～ (最大17:40)	ワーク：面接対策	就活本番に向けて、面接で気をつけるべきポイントや質問の意図を知る。	
R3.1.18(月) 16:10～ (最大17:40)	就活直前！おさらいセミナー	今までの就職ガイダンスで扱った内容を改めて復習	
R3.1.25(月) 16:10～ (最大17:40)	身だしなみ・メイクアップ講座	就活が本格化する前に、改めて身だしなみやメイクのマナーについて学ぶ	
R3.2.1(月) 16:10～ (最大17:40)	ジョブフェア事前説明 説明会参加時の就活マナー	3月開催の企業合同説明会資料の配付，注意事項服装などマナーについても説明	

就職活動をしている学部4年生・修士2年生の方へは「就職ガイダンス」ではなく、個別の「相談」で支援します。就職推進担当では、就活全般の相談、添削、面接練習などの相談業務を行っていますので、気軽に就職推進担当へお越しください！

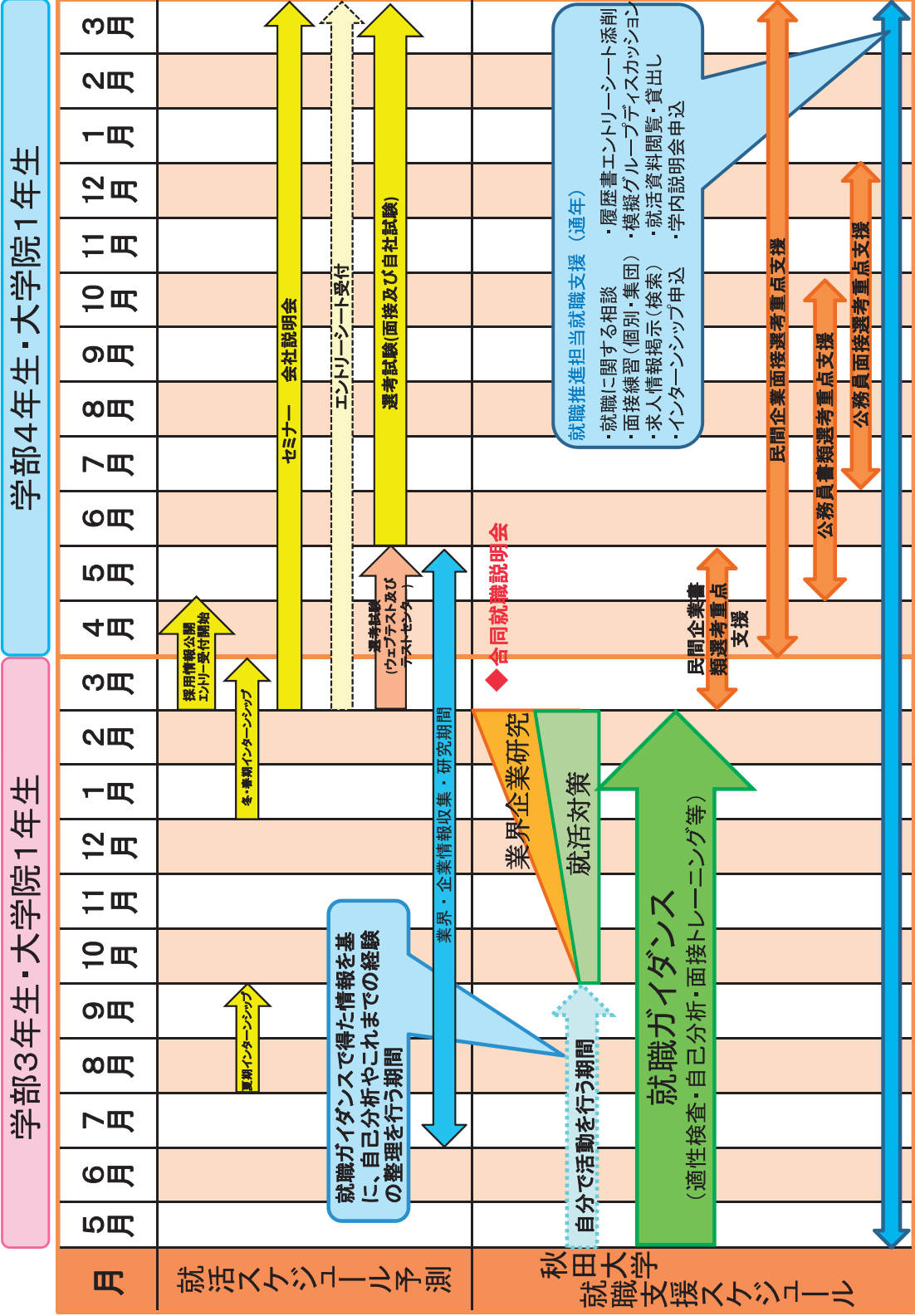
※就職推進担当の利用方法はP27～28でご確認ください。

〈就職志望先別・就職活動の進め方〉

- ◇就職活動年間スケジュール …… 18
- ◇民間企業志望の方 …………… 19
- ◇公務員志望の方 …………… 22
- ◇教員志望の方 …………… 24

～就職活動年間スケジュール～(R2.5～R3.3)

※R2.3月時点



民間企業志望の方

■企業を目指すには

企業に就職するためには、それぞれの企業の採用選考試験にパスしなければいけません。一般的に採用試験は、①書類選考、②筆記試験、③採用面接、等の流れで進み、大学入試と異なりペーパーテストの点数ではなく人物評価が重視されます。

就活は、限られた時間・情報のなかで企業は「どう人を評価するか」、学生は「どう自分をアピールするか」というせめぎあいの中です。学生に必要なのは「自分の意志を持つこと」、「自ら動くこと」、「自分の頭で考えること」です。そうした姿勢や資質を企業は見ているのです。

■採用活動のスケジュール

企業による採用情報の公表や説明会の開催は、大手企業を中心に3年次の3月からスタートします。概ね3月からエントリーシート（ES）提出や筆記試験が始まり、6月から選考が開始されることになっています。しかし、実際には3月頃から面接選考を行うなど採用選考は早期から本格化していきます（中小企業は選考時期が分散する場合があります）。

〈3月〉	〈3～6月〉	〈6月～〉	〈10月～〉
<ul style="list-style-type: none"> ・就職サイトの本格オープン ・合同企業説明会の開催 ・（プレ）エントリースタート 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社説明会やセミナーの開催が本格化 ・ES・履歴書（書類選考） ・筆記試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の実施 →面接は通常、複数の段階で実施される。順次内々定の合否決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正式内定 →複数の内々定を受けた場合は正式内定までに1社に絞る。

■企業を目指す方に必要となる対策 （就活開始時期までにやっておくこと）

3年次の3月から就活が本格スタートしますが、その時点で一から始めるのでは遅れをとります。企業の採用活動に臨むには、事前の準備がとても重要です。

3年生の前半からは就活への目的意識を醸成し、以下のことに取り組むようにしましょう。

□自己分析

自分の長所・短所・特徴・適性は何か、自分を振り返り、見つめましょう。そのうえで、「自分はどんな人生を送りたいか」そのために「仕事に何を求めるか」「どんな仕事がしたいか」をイメージして「働くこと」について考えてみましょう。

□企業・業界研究

世の中には多種多様な業種・企業・職種が存在します。興味のある業種を絞り、業界・企業の情報収集・分析のうえで「ここで働きたい」と思える企業を探しましょう。

これらのことは、自分の就活の方向性を定めるだけでなく、実際の就活の場でその自身が問われることとなります。1人にならず積極的に周囲の友人と話し合うことや、就職した先輩と接することもヒントになるでしょう。

また、企業のHPだけで得られる情報は限られていますので、インターンシップや志望候補企業の説明会、セミナーには積極的に参加し、採用情報だけでなく社員や職場の雰囲気等もよく観察しましょう。

(就活がスタートしてから)

《1 ES・履歴書(書類選考)対策》

企業へ自分を売り込む書類の作成・提出で、ここから就活がスタートします。3月から大手企業を中心にWeb上での採用情報公開が始まり、ES・履歴書の提出についてアナウンスされます。多くの企業が独自に書式を設定しますが、**共通するポイントは次の3点**です。

企業はES・履歴書をもとに求める基礎的な資質・素養を持っているかを判断し、応募者の絞り込みを行います。作成においては、**熱意だけでなく具体的な根拠をもとにした論理的かつ的確な記述**を心がけましょう。

□自己PR

「あなたはどのような人ですか」という人物評価のために必須の質問です。事前の自己分析が問われますが、抽象的な表現に終始せず学生時代等これまでの具体的な体験・経験を踏まえ自分を客観的に分析・表現できるかがポイントです。志望動機とつながり、企業で働くときにどのように活躍できる人材なのか、自分がやりたいという仕事をするために必要な能力があるのかという視点で評価されます。

□志望動機

「なぜこの企業に就職したいか」は企業が最も聞きたい質問です。その企業の理念・ビジネスの特徴等をどの程度理解したうえで志望しているか熱意・本気度が問われ、事前の企業研究が重要になります。自己PRを踏まえ、自分が主張するその業界・企業で「やりたい仕事」に、自分がいかに向いているかを併せて伝えることで説得力が増します。

□将来展望

その企業で「どういう仕事がしたいか」「どういう社会人になりたいか」、自己分析と企業研究を総合した将来ビジョンが問われます。自分が仕事を通じて実現したい「夢」について考え、企業へその想いをぶつけましょう。

《2 筆記試験対策》

筆記試験には、①読解力・計算力や時事問題等の基礎的学力をみる能力適性検査、②心理テスト等性格適性検査があります。特に①について筆記試験の市販のテキストで学習することで十分対応可能でしょう。

《3 面接対策》

面接が採用選考の本番です。一般的に複数のステップを経て応募者の絞り込み・最終的な内々定の決定が行われます。ES・履歴書をもとに質疑応答、が基本的なスタイルで、ESに書いたコンテンツを自分の言葉で的確にプレゼンできるかが重要です。

ただし、もちろんそれ以外の質問もありえます。事前の自己分析や企業研究の内容をベースに、**限られた時間の中で「聞かれたことにより的確に応答できる」能力**が問われます。

また、近年ではグループディスカッション等を採用選考に取り入れる企業も増えており、これは「チームとして意見を的確にまとめる」能力が求められるといえるでしょう。

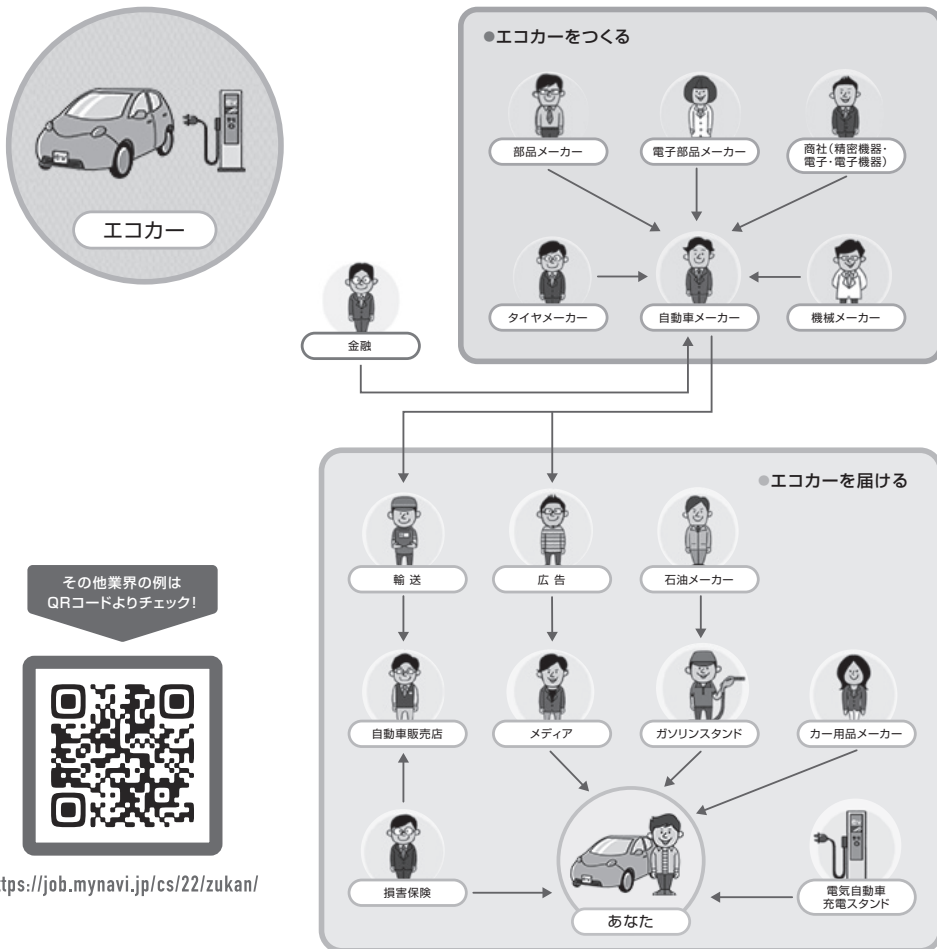
☆ 企業を目指す方は、各年次を対象に開催される**就職ガイダンスにこまめに参加して情報収集**し、県内企業であれば**インターンシップによる職場体験も活用**しましょう。そして3～4年次の**就活時期はESや面接の指導を積極的に利用**しましょう。

参考1:業界の流れ

モノ(コト)が私達の手元に届くまでにはたくさんの業界が携わっています。
 業界研究をする際は、1つの業界だけ調べるのではなく、「誰に何を提供したいのか」
 「どのように携わりたいのか」という視点で広く業界を調べることがポイントです。
 まずは以下の例を参考にして「業界の携わり方」を意識してみましょう!

例 エコカーが消費者に届くまで

理系・文系関係なく、様々な業界が携わりながら消費者の手元に届きます。



その他業界の例は
QRコードよりチェック!



<https://job.mynavi.jp/cs/22/zukan/>

出典:マイナビ2021「業界研究大図鑑HYPER」

公務員志望の方

■公務員を目指すには

国や地方公共団体（都道府県、政令指定都市・市町村ほか）等官公庁の行政事務に携わる職員になるには、それぞれの職種等について実施される試験に合格する必要があります。

国家公務員については下記の職種・区分により試験が実施されます。地方公務員は各団体において個別に採用試験が行われています。

試験のスケジュールはそれぞれ異なりますが、**国家公務員試験の早いものは4月には1次試験がスタート**します。**地方公務員は例年概ね6月から試験**が実施されます。

各試験の受験案内は、概ね前年度後半から公表されますので、人事院HPの「国家公務員試験採用情報NAV1」から、地方公務員については各地方公共団体のホームページ等で確認してみましょう。また、民間企業と同様、官公庁も年度により採用者数の増減があります。自分が志望する試験については、試験内容はもちろんですが採用予定者数も重要な情報ですのでチェックしましょう。

パンフレット類を就職推進担当で閲覧できる場合もありますので、お気軽におたずねください。

国家公務員採用試験の種類・区分（大卒・院卒程度）（※R1年度）

試験名	試験区分
国家公務員総合職（院卒）	行政、人間科学、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境、法務
国家公務員総合職（大卒）	政治・国際、法律、経済、人間科学、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境、教養
国家公務員一般職（大卒）	行政、電気・電子・情報、機械、土木、建築、物理、化学、農学、農業農村工学、林学
皇宮護衛官	
法務省専門職員（人間科学）	矯正心理専門職A、矯正心理専門職B、法務教官A、法務教官B、保護観察官
財務専門官	
国税専門官	
食品衛生監視員	
労働基準監督官	労働基準監督A（法文系）、労働基準監督B（理工系）
航空管制官	
外務省専門職員	
防衛省専門職員	英語、ロシア語、朝鮮語、中国語
裁判所職員（総合職）	裁判所事務官、家庭裁判所調査官補
裁判所職員（一般職）	裁判所事務官
国立国会図書館職員	総合職、一般職、資料保存専門職員

※上記のうち外務省、防衛省、裁判所、国会図書館は人事院HPには掲載されませんので、それぞれのHPをご覧ください。

■公務員の仕事

一言で公務員といっても、国・地方ともに多様な職種があります。

大まかには、**ゼネラリスト**として多様な業務分野を経験する職種、**スペシャリスト**として特定の業務分野に長期従事する職種に分かれます。

民間企業の就活における企業研究と同様、それぞれの職種の業務内容や働き方、将来の異動・昇任のスタイル等を踏まえ、自分なりに「やりたいと思える仕事」に向いてい

と思う仕事」を考えて志望する職種（併願する場合は優先順位）を定め試験準備に臨むことが大切です。なお、公務員試験では筆記対策が最も重要になりますが、国・地方ともかつてと比べ、筆記試験合格者を増やして人物評価（面接）で採用者を絞り込む傾向もみられます。面接では上記の志望動機が重要になりますので、その点からも「公務員になってどういう仕事がしたいか」をしっかりと考えておきましょう。

■公務員試験に向けた対策

筆記試験対策がメインになりますので、大学受験と同様に一定期間の試験勉強が必須ですが、難易度が高いといわれる試験でもしっかりとした受験対策をすれば合格可能性は確実に向上します。早めのスタートが鍵になります。試験は概ね、一次試験（教養・専門）、二次試験（記述・小論文・面接）という形式が一般的です。

一次試験

択一式の出題が主流で、基本的には教養試験・専門試験とも標準的な参考書と過去問の反復が有効です。出題範囲も広いので効率的な学習が求められます。なお、二次試験でも出題される分野は特に重点的に学習しましょう。

二次試験

記述や小論文が課される場合は、過去の出題傾向をチェックし過去問を題材に対策しましょう。

面接対策は民間企業と同様ですが、特に志望動機がポイントです。「地元だから」「安定しているから」という安易な発想ではなく、国・地方それぞれの分野の「公共の仕事」に積極的な価値を見いだす姿勢が求められます。

公務員を目指す方は、就職ガイダンスに参加して二次試験に向けて情報収集し、インターンシップによる職場体験も活用しましょう。3年次では筆記試験対策に集中のうえ、4年次には履歴書や面接の個別指導を積極的に利用しましょう。

教員志望の方

■志望から採用発令までの留意事項と手続き

①志望都道府県の選定（受験の準備）

a 志望する都道府県等及び学校種別を十分に研究しておく必要があります。なお、全国的に教科ごとに募集する中学校・高校よりも、一括して募集する小学校の方が倍率は低い場合が多いです。

a - 1. 秋田県の場合

毎年、秋田県教育委員会が「学校教育の指針」を発行し、HPで公表しています（就職情報室でも閲覧可）。

例えば、「豊かな人間性をはぐくむ学校教育」として「Ⅰ 思いやりの心を育てる、Ⅱ 心と体を鍛える、Ⅲ 基礎学力の向上を図る、Ⅳ 教師の力量を高める」という項目が記載されています。これらの項目の背景にある教育的理念をどのように捉え、自分が教師になったとき、どのように子どもたちと向き合うのかを具体的に考えることが求められます。

a - 2. 他県の場合

他県を受験する場合も、それぞれの自治体が求めている教員像を把握しておく必要があります。また、特にその自治体のホームページ等で、当該自治体の教育事情の情報を収集しておくことも求められます。なお、東北以外の自治体では、大学推薦を実施している所があります。活用を考えてみましょう。

b 受験の準備

- ・教員採用試験のための講習会等（教育文化学部では教員採用試験に向けた「スタージュ（スプリングキャンプ・オータムキャンプ・自治体別ガイダンスなどを含む）」や「教職自主ゼミ」等を定期的に開催）や教職総合基礎等の授業にも積極的に参加することが重要です。
- ・教員採用試験問題集等へ取り組む等、筆記試験でそれなりの点数を取れるようにしておかなければ、合格は望むべくもありません。
- ・教育文化学部では秋田県、岩手県、仙台市、さらに首都圏（令和元年度は千葉県、さいたま市、栃木県、川崎市等）の教育委員会関係者による教員採用試験説明会を実施しています。それらに参加することによって、それぞれの自治体で求められる教員の姿勢、資質等について理解し、同時に自分なりにあるべき教員像を明確にしておくことが求められています。また、そこで積極的に質問をすることも大切です。

②試験要項と出願（書類提出）

本学へ送付されてくる自治体の試験要項もありますが、すべての都道府県等からではありません。志望する自治体を早めに決め、試験要項及び出願所定用紙を各自で取り寄せてください。出願書類は学生本人が志望する都道府県教育委員会へ提出します。なお、大学推薦がある自治体もあります（1次試験免除）。

③試験

試験内容は各都道府県によって異なりますが、おおよそ次のとおりです。

- ・書類審査…提出書類について審査を受けます。
- ・筆記試験…一般教養，教職教養，専門教科，論文等
- ・面接試験や模擬授業…教員として適格であるか審査を受けますが，最近は大変重視されています。
- ・健康診断…健康診断書の提出とは別に，胸部疾患やその他伝染疾患等診断のため課される場合があります。

④発令

採用決定された者は，原則として4月1日で発令されます。なお，事前に研修等があります。

なお，「教諭」として採用されなくても「講師」として学校に勤めることも価値あることです。児童・生徒から見れば同じ「先生」です。

〈各種支援メニューの紹介〉

◇ジョブ・フェア（企業合同説明会）	27
◇学内個別説明会	27
◇面接練習（個人・集団）・模擬グループディスカッション	27
◇エントリーシート・履歴書指導	27
◇就活支援バス	28
◇就職関連資料の閲覧・貸出	28
◇求人情報検索システム	28
◇[留学生向け] 留学生就職支援ネットワーク	28
◇インターンシップ	29
◇東京サテライト	30
◇セカンドキャンパス	30
◇求人情報検索システムの使い方	31

各種支援メニュー

■ ジョブ・フェア（企業合同説明会）

- ・就職を希望する学生と企業の人事・採用担当者などが直接面談することにより、学生等が企業（業界）の詳細な情報や求める人材像等を把握する等、職業選択とキャリア形成の一助に資するとともに、就職活動中の就職支援を目的としてジョブ・フェア（合同企業説明会）を開催します。

企画名	日時等	対象年次	内容
ジョブ・フェア （企業合同説明会）	R3. 3月上旬（予定） 9：10～16：50 会場未定	学部3年次 修士1年次 既卒3年以内	参加企業：県内外360社（予定） 2日間実施予定 午前・午後の二部総入替制

※上記予定は変更になる場合があるので、日時・場所・内容等は開催前の案内を必ず確認してください。

■ 学内個別説明会

- ・就職推進担当では、随時、学内での個別企業説明会を開催しています！
企業の方と直接会うことのできる貴重な機会なので、積極的に活用しましょう。
- ・開催の案内は a・net や学内掲示板及び秋田大学HP内のイベントカレンダーで周知しますので、定期的にチェックしましょう。
（事前申し込み制や持ち物指定の場合もありますので、必ず案内を確認してください。）
- ・**無断欠席は厳禁です！** 事前に必ず就職推進担当までお知らせください！
（無断欠席した場合は、企業の方に大変ご迷惑をお掛けすることになります。またその後の学内説明会への参加を制限することもあります。）

■ 面接練習（個人・集団）・模擬グループディスカッション

- ・就職推進担当では、原則として事前予約制による個別面接指導と動作を含めた実技練習を行っています。希望の学生には集団面接練習も行っていますので、ぜひご利用ください。
- ・近年、採用活動において実地されているグループディスカッション（集団討論）についても、希望に応じて模擬グループディスカッションを行っていますので、併せてご利用ください。

■ エントリーシート（ES）・履歴書指導

◇ ES・履歴書の相談について

- ・ES・履歴書は自分1人で作成していると視野が狭くなりがちで、的確な内容・文章かどうか客観的な視点からチェック・アドバイスを受けることが必要です。企業に提出するES・履歴書の添削・相談も行っていますが、いきなり本番を迎えることが不安だという場合には「模擬エントリーシート」と「初めての模擬エントリーシート」を活用した練習も可能です。
- ・就職推進担当では随時（平日9：00～17：00）、ES・履歴書の相談を行っています。志望企業へ提出する前に、ぜひご利用ください。

（利用方法）

1 ES・履歴書の事前提出

- ・志望企業の指定書式等をもとに作成し、持参もしくはメールで就職推進担当へ提出してください。
- ・メール提出の場合、件名を「学部・学籍番号・氏名」として、本文に必ず「志望企

業・面談希望日時（〇月〇日〇時から）・締め切り日」を記入して syusyoku@jim u.akita-u.ac.jp へ送信してください。

※ 原則として事前提出をお願いしていますが、緊急、記載内容で悩んでいる場合には当日持参でも受け付ける場合があります。お気軽にご相談ください。

2 面談によるアドバイス

- ・相談窓口の職員が、事前提出のESをチェックのうえ後日面談によりアドバイスします（最大60分）。
- ・面談日時は、持参の場合は窓口で希望日時をお知らせください。メールの場合は送信された面談希望日時に配慮のうえ指定日時を返信します。

※ 企業等への提出様式がない場合でも、事前に書く内容を整理するため、就職推進担当で配付している「模擬エントリーシート」にチャレンジしてみることをお勧めします！

（詳しくは、窓口にてお尋ねください。）

■就活支援バス

- ・就職推進担当では、学生の皆さんの都市圏における就活をサポートするため、各種就活バス運行情報の提供や運賃助成などの支援を計画しています。開催案内は a・net や学内掲示板に掲示しますので、適宜ご覧ください！

■就職関連資料(書籍・DVD等)の閲覧・貸出

- ・就職推進担当に届いた、就職関連の資料を閲覧することができます。書籍や過去の就職ガイダンスの録画DVDは貸出も行っています。情報収集の一助として、就活に役立ててください。

■求人情報検索システム

- ・2020年3月から「求人情報検索システム」が新しくなりました！
- ・企業等が登録・配信した、求人情報やインターンシップ情報、企業情報等を、パソコンからでもスマホからでも、いつでも閲覧することができます。
- ・利用方法等、詳しくはP.31をご覧ください。

■【留学生向け】留学生就職支援ネットワーク

- ・秋田大学では、外国人留学生への就職支援の一環として、一般社団法人留学生支援ネットワークが運営する「留学生就職支援ネットワークシステム」に2019年6月に加入しました。
- ・このシステムは、日本で就職を希望する外国人留学生に、日本での就職活動の方法や就職試験対策などを詳しく・わかりやすくWEBサイトにて提供することで、24時間好きな時に好きなところで学習することができます。
- ・また、外国人留学生の採用に積極的な企業の採用情報や外国人留学生向けのガイダンスやセミナーの情報、合同企業説明会や面接会などの情報も提供します。
- ・主な機能や登録方法は、下記URLから秋田大学ホームページを参照してください。登録する前に、利用規約を確認してください。

【秋田大学HP→就職支援→（就職支援）トップ→（在学生へ）留学生就職支援ネットワークについて】

<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/work/network.html>

■ インターンシップ

就職推進担当では、正課・正課外での企業・行政機関へのインターンシップ申込を随時受け付けています！インターンシップ先は以下の方法で探すことができます。

《インターンシップ先を探す方法》

- ① 就職推進担当取りまとめ企業から探す（掲示板及びアネット等で周知します）
- ② 求人情報検索システム（アネット内）で探す
- ③ 就職情報会社のサイトで探す
- ④ 学生自身で希望先にアポイントをとる

（例）令和元年度夏期インターンシップ（正課外）に参加した先輩の声

（インターンシップを体験しての考え方の変化、学んだこと）

行っている業務にやりがいを感じたり、誇らしく思えたりすることが一番大きなことではないかと感じました。自分自身も何か1つ強みを身につけられたら良いと思います。業務内容を知っているつもりでも、体験したり自分で見ないと分からないことが多いと感じました。今後は企業研究やインターンシップへの参加を怠けることなく、常にアンテナを張って就活をしていきたいです。

（後輩へのアドバイス）

実際に働いている社員の方々とお話させていただく機会はなかなかないのでとても勉強になると思います。

地元の資源を活かした地元ならではの企業はそこではできないことをしていると思うので、とても興味深いと思います。たくさんインターンシップに参加すると良いと思います。

《インターンシップ申込時の注意事項》

県内・県外のインターンシップに申込をする際は、締切を厳守してください。
特に県外のインターンシップに申込する場合は、以下を必ず確認してください。

1. 先方への申込期限

2. 大学で学生の応募書類を取りまとめて応募するのか、学生が直接応募するのか （取りまとめ：就職推進担当）

大学で取りまとめて応募するものに関しては、先方への申込期限ぎりぎりに申込書を提出しても事務手続き上、間に合いません。よって、大学で取りまとめて応募するインターンシップに関しては、申込期限の1週間前までに就職推進担当に申込書を提出することとします。

《インターンシップ参加時の注意事項》

◇ 保険に必ず加入すること。（AまたはBどちらかの組み合わせ）

A) 「学生教育研究災害傷害保険」「学研災付帯賠償責任保険」

B) 「生命共済保険」「学生賠償責任保険」

◇ 就業規則を遵守し、遅刻・欠勤は絶対にしないこと。病気または緊急の要件により遅刻・欠勤する場合には、必ず担当者に事前に連絡をし、就職推進担当にも連絡すること。

■東京サテライト

- 秋田大学は、首都圏での各種活動の拠点として「東京サテライトオフィス」を開設しています。

本学学生が東京で就職活動をする際、休憩所としても利用できます。(要事前連絡)

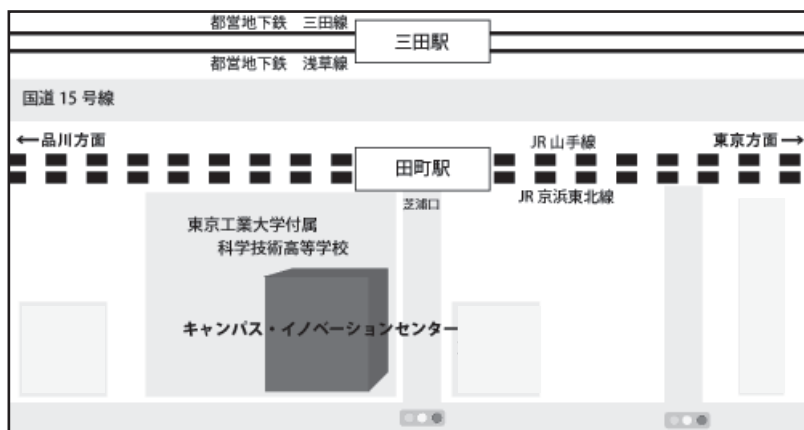
(所在地) 〒108-0023

東京都港区芝浦3-3-6キャンパス・イノベーションセンター 606号室

(連絡先) TEL・FAX 03-5440-9104

(開館時間) 平日 10:00~17:00 (年末年始を除く)

(アクセス) JR 田町駅芝浦口から徒歩1分



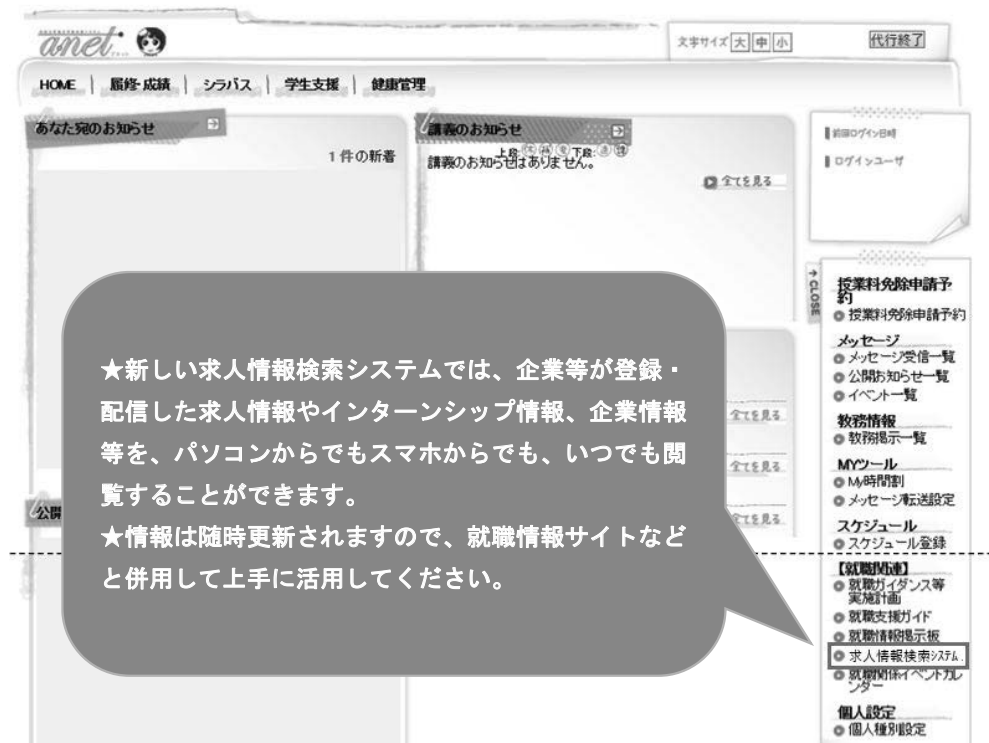
■セカンドキャンパス

秋田大学では、学生の皆さんの首都圏における就活をサポートするため、(株)ユニバースクリエイトが運営する「セカンドキャンパス」の利用が可能となりました。利用方法等の詳細につきましては、a-netや学内掲示板でお知らせしますので、適宜ご覧ください。(JR新宿駅南口出口から徒歩5分)

■ 《求人情報検索システム 利用方法について》

【a・net ログイン→【就職関連】→求人情報検索システム】から閲覧できます！！

- (PC版) <https://anet.akita-u.ac.jp/portal/top.do>
- (スマホ版) <https://anet.akita-u.ac.jp/portal/sptop.do>



「求人情報検索システム」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

求人情報の他、インターンシップ情報や、企業情報も閲覧することができます。条件を設定して、検索をかけることもできます。

◆PC画面

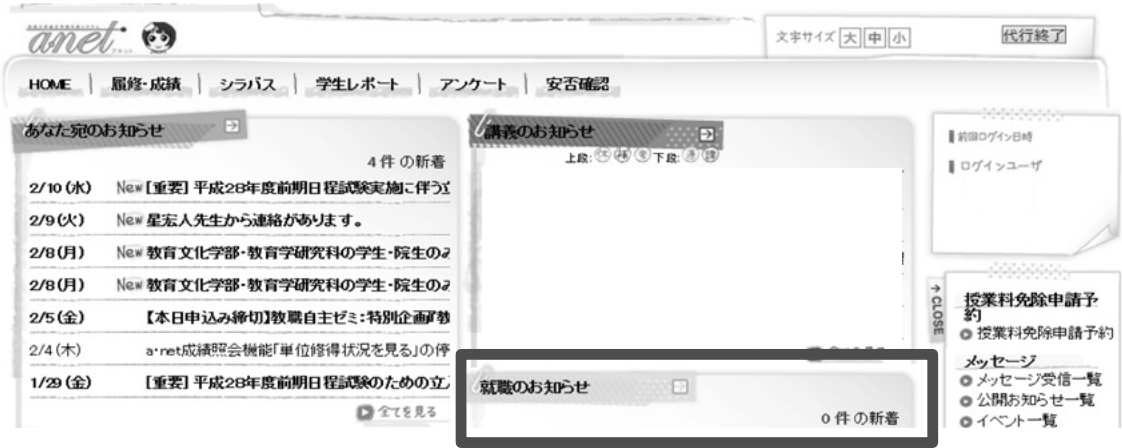


◆スマホ画面

《a・net [就職のお知らせ] 利用方法について》

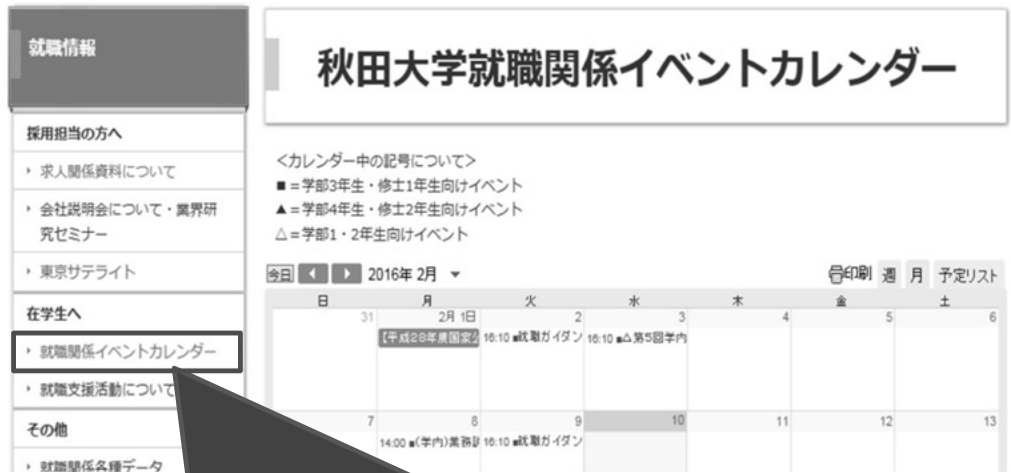
★ジョブ・フェアや就職ガイダンスの御案内などを随時お送りしております。★a・netの転送設定をするか、定期的にログインして必ず確認してください。

【a・net ログイン→就職のお知らせ】からご覧になれます！！



《就職情報カレンダー 利用方法について》

【秋田大学 HP→就職支援 → (就職情報) トップ → (在学生へ) 就職関係イベントカレンダー】からご覧になれます。



★就職セミナー・ガイダンス, 学内会社説明会の情報を掲載しています。
対象をクリックして, イベントの詳細を確認しましょう。

Ⅱ. 各学部における支援

国際資源学部における支援

国際資源学部では、各コースの就職担当教員を中心に、教員一人一人がきめ細かな情報提供、就職相談をおこなっています。本学部の強みである実業界との太いパイプを活かして、企業からの求人情報の提供、OB等による会社説明会の開催、エントリーシートへの添削、面接指導など、就職に関する全般にわたって支援を行っています。

資源政策コースでは、3年次に、卒論のゼミとは別の「就職活動支援ゼミ」を実施し、自己分析カードやESの書き方の個別指導、SPIの模擬試験等を通して、学生の進路相談に乗っています。学部の強みをいかし、文系/理系の枠にとらわれずに、多様な企業や職種にチャレンジする積極的な就職活動を支援しています。

資源地球科学コースでは12月から3月にかけて、石油開発、金属鉱業、総合建設コンサルタント等、関連業界の採用担当や本学OB・OGの方々をお招きして「業界研究セミナー」をシリーズで開催しています。資源地球科学コースの3年次や大学院生に限らず、いろいろな職種を理解したいという諸君には学年やコースの別を超えて参加できるよう配慮しています。また、希望者を対象に、メールによる情報提供や指導も行っています。

資源開発環境コースでは3年次に最新の就職・インターンシップ情報が速やかに伝わるように、頻繁に掲示を更新すると共に、仮配属先の教員にも周知を依頼しています。さらに、学生の希望業種に詳しい教員が、研究室の枠を越えて、進路相談を行っています。

○令和2年度就職担当教員は下記のとおりです。

令和2年度就職担当教員一覧

◆資源政策コース	教授：安	達	つよし	毅	018-889-2468	国際1-2階 N213
◆資源地球科学コース	教授：荒	と	ひろ	ゆき	018-889-3257	国際1-1階 N110
◆資源開発環境コース	教授：今	い	ただ	お	018-889-2388	国際1-2階 N204

教育文化学部における支援

【就職情報室について】

○就職情報室の資料について

①企業

- ・県内外企業からの求人情報（パソコンによる求人票，企業検索）

②公務員

- ・国家公務員（総合職，一般職）の受験案内
- ・国家公務員（国税専門官，法務教官，労働基準監督官，裁判所事務官等）の受験案内
- ・地方公務員（県，各市町村）の受験案内
- ・国立大学法人，独立行政法人，特殊法人の概要と受験案内
- ・公務員試験（教養，専門）過去問集，専門分野テキスト（法学・経済学・政治学・行政学等の教科書）

③教職

- ・秋田県の受験案内
- ・秋田県教育委員会発行「学校教育の指針」
- ・秋田県の教員採用試験過去問題

上記資料の他に，先輩たちが残してくれた就活と教採・公務員試験受験の記録（『就職活動に向けて』），公務員，教職関係の問題集や参考書，SPI（適性検査）書籍，エントリーシートの書き方，各種情報誌，日本経済新聞，日本教育新聞等も設置しております。また企業説明会（セミナー）・公務員試験等各種案内も掲示していますので積極的に活用して下さい。

○個別相談

就職情報室では就職担当職員2名が皆さんからの質問・相談にいつでも応じます。

学部キャリア委員や教員によるエントリーシートの添削，面接指導も随時行っていますが，添削，指導までに2・3日かかる場合もありますので，余裕を持って申し込むようにしてください。

○場所 教育文化学部3号館1階

○開室時間	月・火・木曜日	10:00～12:00, 13:00～17:00
	水曜日	10:00～12:00, 13:00～16:00
	金曜日	11:00～12:00, 13:00～16:00

【その他】

○就職情報について

就職情報「ガジェット」による就職案内をメール配信しています。「教職ガジェット」「公務員ガジェット」「企業ガジェット」があり，それぞれの職種での求人情報やセミナー開催のお知らせ等，重要な情報を送っています。複数登録することも可能ですので，就職希望の学生はぜひ登録するようにしてください。なお，「ガジェット」の詳しい登録方法については就職情報室へお問い合わせください。

また，a・netでも教育文化学部で開催するセミナー等の就職情報をお知らせすることがありますので，メッセージ転送機能をぜひ利用して，確認するようにしてください。

○職業志望先別の支援

①企業関係

- ・エントリーシートの添削、面接指導
- ・就活スタート講座
- ・企業・内定者との懇談会

②公務員関係

- ・面接練習、小論文・面接カード（自己申告書等）の添削
- ・公務員試験合格者との懇談会など

③教職関係

- ・教員採用試験支援講座「スタージュ」

教員採用に関する様々な支援を行っています。具体的には、外部講師を招いた教職ガイダンス、各自治体教員採用試験説明会、小論文対策及び面接対策、教員採用試験合格者との「先輩と語る会」等を開催しています。また、春と秋にはキャンプを実施し、集中的に取り組んでいます。

- ・教職自主ゼミ

毎週定期的に学生主体で行っている講座です。教育に関するトピック等を取り上げ、発表・検討を行ったり、面接練習、模擬授業対策等を実施しています。

【スケジュール】

秋田大学教育文化学部の場合、入学から卒業までのスケジュールは、概ね以下のようになっています。

	目的・ねらい	前 期	夏季休業	後 期	春季休業
1 年 次	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力についての基礎的な理解・習得のための基盤づくり。 ・充実した大学生活のあり方を確立する。 	<p>大学生活に慣れる。必修の授業には必ず出席すること。</p> <p>初年次ゼミのなかで就業力育成の時間設定。「とりあえず免許を取得しておく」と就職に有利」は誤解。</p> <p>「キャリアデザイン基礎」等のキャリアデザイン科目を受講すること。</p>	<p>長期休業には、日頃できないことに自主的に挑戦し、人に語れる体験をしよう。（旅行、ボランティア活動、資格取得のための勉強等、何でも良い。）</p>	<p>10月前期の成績照会、必要単位の修得に関して点検すること。</p>	<p>長期休業には、日頃できないことに自主的に挑戦し、人に語れる体験をしよう。（旅行、ボランティア活動、資格取得のための勉強等、何でも良い。）</p>
2 年 次	<p>【キャリア意識の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業力育成のための教育体系（内容、方法論）の展開。 ・就業力の習得、具体的展開に関する問題意識。 	<p>教員、公務員志望者は具体的な試験対策の開始を。（教員志望者は受験を考えている自治体の教育委員会のホームページには必ず眼を通しておくこと。公務員志望者は試験科目に関連する授業を受講することが望ましい。）</p>	<p>教員志望者は、自分が勤務を希望する自治体の教育委員会の教育方針等を研究しておくこと。</p> <p>2年または3年次に公務員志望者もインターンシップに参加。企業が、自治体が行うインターンシップに自主的に参加しよう。</p>	<p>地域文化学科の学生は3年生の「地域連携ゼミ」受講を考慮すること。</p> <p>インターンシップの一つとしてみる事ができる。2年生の2月上旬までには実習先が決定。学校教育課程の学生は、教育実習（I期）をふまえて自分の課題を発見し、取り組むこと。</p>	<p>企業への就職志望者は、自分が関心のある業種、企業、職種について、関心を持っている理由を書き出してみること。</p> <p>公務員志望者は専門科目の勉強。学年不問の業務説明会があれば積極的に参加しよう。</p>

	目的・ねらい	前 期	夏季休業	後 期	春季休業
3 年 次	【キャリア目標の明確化と自己分析及び仕事理解】	4月就職ガイダンス開始。 自己分析の方法や表現の仕方について学んでおく。 教育実習事前指導。 各自治体の教育委員会の説明会には3年次から出席することが有効。 公務員の業務説明会に参加。官公庁の夏季インターシップの情報収集と申込み。	夏季インターシップ 企業研究・業界研究を開始。 教育実習。 本格的な公務員試験の試験勉強及び面接準備。インターシップに参加する。	11～12月教員採用試験・公務員試験合格者・企業内定者との情報交換会。 教育実習。事後指導－報告会等。 スタージュ・オータムキャンプに参加。 公務員の業務説明会には積極的に参加しよう。 本格的にエントリーシート対策・模擬面接を開始。	春季インターシップ 3月企業の採用広報活動が始まり、企業就職活動が本格的にスタート。 大学主催の合同企業説明会(ジョブ・フェア)開催。 個別企業説明会開始。 公務員試験の日程を再確認し、申込手続き開始。公官庁の業務説明会、セミナー等に参加。
4 年 次	【キャリア目標へのチャレンジ等具体的な就職活動の展開】 ・試験合格、内定獲得に向けた就職活動。	合同企業説明会、個別企業説明会。 6月民間企業採用選考活動の開始。 教員採用試験、公務員試験開始。 スタージュ・スプリングキャンプに参加。	教員採用試験、公務員採用試験とその準備。	10月教員採用試験合格発表。 10月企業内定。公務員も順次採用内定。市町村では秋以降に職員採用試験を行うところもある。	

【学部就職担当教職員】**<キャリア委員会>**

委員長、副委員長（教職担当）、副委員長（公務員担当）、副委員長（企業担当）

※今年度のキャリア委員の連絡先は、下記の就職情報室の電話番号までお問い合わせ下さい。

<就職情報室>

018-889-2516, 3077

医学部における支援

○医学科

学務課には、全国各地から合同説明会や、卒業後の研修先（勤務先）に関する情報などが集まります。閲覧を希望する学生は、学務課の窓口へお問い合わせください。

併せて、附属病院には卒業後の初期臨床研修並びに専門医研修のきめ細かいサポートを行う総合臨床教育研修センターが設置されており、そこでは、在学生向けに附属病院における初期臨床研修に関する説明会も年数回行っています。その際、卒業生や各科専門医からのアドバイスを受け取る機会を設けています。

研修に関する主な相談先

総合臨床教育研修センター長：中^{なか}山^{やま}勝^{かつ}敏^{とし} 教授 TEL 018-884-6436

医学部学務課 TEL 018-884-6032

○保健学科

看護学専攻では、4年次のチュートリアル担当教員が学生個々の進路の相談にあたっています。また、就職・進学支援担当教員を3名配置し、就職施設の選択や病院見学会、採用試験情報の提供等、学生の進路決定を支援する体制をとっています。

理学療法学専攻、作業療法学専攻では、4年次の担任を中心として就職・進学に関する相談を受ける体制を整えています。

就職担当教員

看護学専攻：永^{なが}田^た美^み奈^な加^か 講師 TEL 018-884-6546

宗^{むね}村^{むら}の^の暢^の子^こ 助教 TEL 018-884-6551

小^お原^{ばら}い^いく^く子^こ 助教 TEL 018-884-6551

理学療法学専攻：佐^さ々^さ木^き ま^まこ^こ 准教授 TEL 018-884-6528

木^き元^{もと} 稔^{みのる} 助教 TEL 018-884-6526

作業療法学専攻：浅^{あさ}野^の朝^{とも}秋^{あき} 准教授 TEL 018-884-6536

高^{たか}橋^{はし}けい^{けい}一^{いち} 講師 TEL 018-884-6534

【保健学科の学生に向けた就職説明会】

企画名	開催日等	対象年次	予定している内容
合同病院説明会 (看護学専攻)	令和2年8月予定 時間・会場等は後日揭示	保健学科看護学専攻3 年次	県内外より病院、診療 所が参加予定
合同病院説明会 (理学療法学専攻・作業療 法学専攻)	令和2年8月11日(火) 総合研究棟1～3講義室 等	保健学科理学療法学専 攻、作業療法学専攻4 年次・3年次	県内外より病院、診療 所が参加予定

【就職ガイダンス】

看護学専攻

企画名	開催日等	対象年次	予定している内容
保健学科生向け就職活動 指導 (看護学専攻)	令和2年12月予定 時間・会場等は後日揭示	保健学科看護学専攻3 年次	履歴書の書き方・面接 試験のポイント
面接トレーニング (看護学専攻)	令和3年2月予定 時間・会場等は後日揭示	保健学科看護学専攻3 年次	面接試験のポイント 模擬面接

理学療法学専攻・作業療法学専攻

企画名	開催日等	対象年次	予定している内容
面接トレーニング (理学療法学専攻・作業療 法学専攻)	令和2年4月3日(金) 時間・会場等は後日揭示	保健学科理学療法学専 攻・作業療法学専攻4 年次	面接試験のポイント 模擬面接
保健学科生向け就職活動 指導 (理学療法学専攻・作業療 法学専攻)	令和3年2月9日(火) 時間・会場等は後日揭示	保健学科理学療法学専 攻・作業療法学専攻3 年次	履歴書の書き方・面接 試験のポイント

理工学部における支援

理工学部では、各コースに進路指導担当教員を置いて学生の就職指導に当たっており、各コース就職ガイダンスの開催、企業からの求人情報の提供、OB等による会社説明会の開催、面接指導等、就職に関する全般にわたって支援を行っています。

また、それぞれのコースに就職資料室を設置して、求人情報、会社案内、会社説明会の案内等、各種の情報提供を行っています。

○令和2年度理工学研究科・理工学部就職担当教員は下記のとおりです。

令和2年度就職担当教員一覧

大学院：専攻学部：学科	コース名	就職担当教員
生命科学専攻 生命科学科	生命科学コース	教授：尾 高 雅 文 018-889-2091 地域創生センター2号館(3階)
物質科学専攻 物質科学科	応用化学コース	教授：寺 境 光 俊 018-889-3074 理工学部4号館 322
	材料理工学コース	教授：齋 藤 嘉 一 018-889-2409 理工学部3号館 303
数理・電気電子情報 学専攻 数理・電気電子情報 学科	数理科学コース	教授：河 上 肇 018-889-2592 理工学部7号館 206
	電気電子工学コース	教授：小 原 仁 018-889-2496 理工学部1号館 437
	人間情報工学コース	教授：水戸部 一 孝 018-889-2339 理工学部5号館 504
システムデザイン 工学専攻 システムデザイン 工学科	機械工学コース	教授：長 縄 明 大 018-889-2726 総合研究棟 407
	創造生産工学コース	教授：三 島 望 018-889-2977 理工学部1号館 230
	土木環境工学コース	教授：濱 岡 秀 勝 018-889-2974 総合研究棟 705
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	—	教授：中 村 雅 英 018-889-2479 総合研究棟 404



Akita University

国立大学法人秋田大学
学生支援総合センター